



加賀市長からのメッセージ 第023号 3月28日配信

年度末が近づき、何かと慌ただしい日々が続いていらっしゃる方が多いのではないのでしょうか。寒暖差が激しく、体調管理に悩ましい時期でもありますが、一方で市内の桜が美しく咲き誇る季節の到来でもあります。

加賀市では、今週も未来への歩みを進めるさまざまな取り組みがありました。

まず、日本郵政様とUber様、そして加賀市の三者による「日本初」の貨客混載実証事業が市内でスタートしました。これは、地域の物流と移動の新たな可能性を探る取り組みであり、人の移動、貨物の輸送、ドライバーの不足の解消、そして、ドライバーの収入増をかなえる試みであります。全国的にも注目されるこの取り組みが、今後の加賀市の発展に貢献することを願っています。

また、人口課題の解消に向けての新しい暮らし方や働き方について、ライフデザイン推進機構によるイベントも開催されました。有識者の方だけでなく、取り組みにご賛同いただくたくさんの方が集い、大変有意義な時間となりました。ここで得た知見やご意見を市政に生かしていきたいと考えております。

国家戦略特区としての取り組みも少しずつ形になりつつあり、最近では新産業であるスタートアップが市内で創業したり、地元企業との協業で新たなビジネスチャンスが生まれたりといった機会も増えつつあります。若き起業家が県外から移住し、市の施設で活発に技術開発や新規事業の創出などを行っている事例も飛び込んできました。市内はもちろん、全国にその取り組みを広げていくために、産業人材の移住定住に向けたプロモーションなども引き続き力を入れてまいります。

(令和7年3月28日号)

加賀市長 宮元 陸